

進路のパズル 第4ピース 「変わる推薦入試」

令和2年7月1日
進路指導部

1 名称変更のポイント

今年度からセンター試験から大学入学共通テストへと変更されるだけでなく、推薦入試も変わる。これまでAO入試と言われたものが「総合型選抜」に、公募推薦と指定校推薦と言われたものが「学校推薦型選抜」に変わる。

名前が変わるだけでなく、評価するポイントが変わる。変更の大きな目的は学力の3要素の育成と評価にある。学力の3要素とは「知識・技能の確実な習得」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ姿勢」を指す。いわゆる高大接続改革の目標とするものである。「知識・技能の確実な習得」、「思考力・判断力・表現力」を評価するために、これまでは面接やプレゼン等で評価していたが大学入学共通テストの結果を採用する大学もある。「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ姿勢」では、高校生活で何をしてきたのかが大事になる。部活や学校行事もそれにあたるが、今後は自分の希望大学がどんな学生を求めているかを記したアドミッション・ポリシーに自分がマッチしているか、自分の個性や適性、志望理由や意欲はどうかが深く問われることになる。

2 推薦入試の変更点概要

	出願、合格時期変更前	変更後	大きな変更点
総合選抜型	出願 8月1日以降 合格発表 9月1日以降	出願 9月15日以降（新型コロナウイルス感染症の影響で9月1日から変更） 合格発表 11月1日以降	大学入学共通テストの利用もある。
学校推薦型選抜	出願 11月1日以降 合格発表 規定なし	出願 11月1日以降 変更なし 合格発表 12月1日以降	① 小論文・プレゼン・口頭試問・実技・各教科や科目のテスト・資格や検定試験の成績 ② 大学入学共通テスト ① または②のいずれかを活用する

3 特徴

(1) 総合型選抜（旧AO入試）

総合型選抜では本人の記載する資料を積極的に活用する入試である。本人の記載する資料とは部活動、生徒会活動、ボランティア活動、検定試験、コンクール等の受賞歴などを自身の活動報告書、eポートフォリオ等にまとめたものを指す。また、志望理由書、学習計画書なども重要な評価の対象となる。総合型選抜は推薦の中でも自分のやりたいことと大学が求める人材のマッチングが重要視される。そのため受験

生はアドミッション・ポリシーを読み込み、カリキュラムやお目当ての教授がいるかまで調べておく必要がある。深く調べるためにはオープンキャンパスに行き、授業を受ける、自分のやりたいことができるかを質問するなどの準備が必要である。総合型選抜を採用する大学のほとんどが専願（合格したら入学することを約束する）であることも注意が必要である。

(2) 学校推薦型選抜（旧公募・指定校推薦）

学校推薦型選抜には「公募制」と「指定校推薦」の二通りがある。どちらも基本的に専願の縛りがあるので注意しよう。

① 「公募制」

公募制推薦入試は学校長の推薦（評定、遅刻、欠席、早退等）があり、大学が提示した条件（例えば評定4.0以上）を満たしたうえで受験資格がある。その上で面接や小論文、学力検査などを総合して合否を判定する。もちろん総合型のように本人の記載する資料に全国大会出場などがあると大きな強みになる。国公立の多くは共通テストを課すことが多い。そのため、推薦といえども勉強を続ける必要がある。楽な道はないのだ。

② 「指定校制」

指定校制推薦は、大学が過去の実績をもとに特定の高校だけで人数枠を決めて推薦を依頼する。高校は大学の指定した条件をもとに学校内で募集する。多くの大学が面接や小論文で評価することが多い。国立大学は原則「公募制」で実施され「指定校制」はない。

4 総合型選抜・学校推薦型選抜の枠がさらに拡大

大学名	変更内容
北見工業大学	工学部で21名増加
弘前大学	人文社会学部、理工学部、農学生命科学部、医学部で合計91名増加
岩手大学	教育学部、農学部合計32名増加
東北大学	経済学部、教育学部、法学部、農学部、医学部で合計45名増加
福島大学	人文社会学群、理工学群で合計22名増加
東京都立大学	人文社会学部、法学部、経済経営学部、理学部、都市環境学部、システムデザイン学部、健康福祉学部で合計65名増加
千葉大学	国際教養学部、工学部、園芸学部で合計15名増加
横浜国立大学	経済学部、都市科学部、理工学部で合計31名増加
岡山県立大学	保健福祉学部、デザイン学部で合計18名増加

5 まとめ

以上のように今年度から推薦入試も変更される。国公立大学でも入学者の半分程度を総合型選抜と学校推薦型選抜で合格者を出すように変化をしていくといわれているため、選択肢の1つになっていくかもしれない。しかし、大学が求める人物像を深く理解しなければいけないことと大学入学共通テストの受験を求められるなど学力の面もしっかりと身に付けなければ合格への道は遠いといえる。今回はアドミッション・ポリシーについて深く見ていこうと思う。